

## 相模原市の広報さがみはらに関する取り組みの評価

日付:令和6年7月5日(金) 実施者:阿部善博 作成:ChatGPT

相模原市では、広聴広報課が中心となり、広報さがみはらの多角的な取り組みを実践しています。今回は、「ChatGPT」「Gemini」「Claude」の3つの生成AIで評価し、今後の取り組みの方向性を検討しました。

生成AIは、相模原市の取り組みを次のように評価しました:

- 1. SNS 等活用**
  - LINE や Yahoo!暮らしを活用し、広報さがみはらの発行を広く知らせています。
- 2. デジタル版提供**
  - 市 HP や専用アプリ、カタログポケットでのデジタル版提供は、現代の多様なデバイス利用者に対応しています。多言語対応や音声読み上げ機能も備えています。
- 3. ユーザーの好みに応じた対応**
  - 紙媒体と電子媒体の両方で配布方法を充実させており、さまざまなライフスタイルに合わせたアクセス手段を提供しています。
- 4. 障害者への配慮**
  - 視覚障害者向けに録音版や点字版の提供を行っています。
- 5. 記事の充実**
  - ターゲット別の特集記事や全ページのフルカラー化など、読者の関心を引く工夫がされています。
- 6. インセンティブ提供**
  - 読者アンケートや特典を通じて、読者の参加意欲を高める施策が実施されています。
- 7. 連携イベント実施**
  - 市制施行 70 周年などのイベントと連動した広報活動は、広報紙の認知度を高める効果的な手段です。
- 8. 公共施設等での配布とPR**
  - 多くの公共施設や駅、コンビニ、金融機関での配架により、市民の目に触れる機会を増やしています。自治会や大学との連携も効果的です。
- 9. 市役所正面入り口でのPR**
  - 市役所正面入り口に広報紙の表紙を掲示することで、来庁者への視覚的なPR効果が期待できます。

## 改善点と新たな取り組みの提案

### SNS のさらなる活用

- Instagram や Facebook などの SNS プラットフォームも積極的に活用し、若い世代へのリーチを強化します。

### インタラクティブコンテンツの提供

- 読者が参加できるオンラインイベントや、広報紙に関連するクイズやアンケートを実施し、インタラクティブなコンテンツを増やします。

### デジタルマーケティングの強化

- SEO 対策やデジタル広告を活用し、広報さがみはらのオンライン閲覧数を増やす取り組みを強化します。

### 読者参加型企画の導入

- 市民記者制度や読者投稿コーナーを設け、市民視点のコンテンツを充実させます。

### パートナーシップの構築

- 地元のビジネスや学校と連携して、広報紙の配布やプロモーションを実施します。

### 特別版やテーマ別特集号の発行

- 特定のイベントやテーマに焦点を当てた特別版や特集号を発行し、通常の号とは異なる切り口で読者を引きつけます。

これらの取り組みを通じて、広報さがみはらの認知度と読者数をさらに増やし、市民にとってより身近で親しみやすい情報源となることを期待できます。

以上の施策を実施し、相模原市の広報活動を一層強化していくことを提案します。